

北九州工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	線形代数 I	
科目基礎情報						
科目番号	0085		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	生産デザイン工学科 (物質化学コース)		対象学年	3		
開設期	前期		週時間数	2		
教科書/教材	「新線形代数 改訂版」大日本図書、「新線形代数問題集 改訂版」大日本図書					
担当教員	石井 伸一郎, 豊永 憲治					
到達目標						
1. 行列および行列式の種々の計算ができる 2. 消去法を用いて連立一次方程式を解くことができる						
ループリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	行列および行列式の種々の計算ができる		行列および行列式の基本的な計算ができる		行列および行列式の基本的な計算ができない	
評価項目2	行列を用いて種々の連立一次方程式を解くことができる		行列を用いて基本的な連立一次方程式を解くことができる		行列を用いて連立一次方程式を解くことができない	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	①行列の基本演算を習得し、いろいろな行列の定義を理解し、それらの性質を使う。 また、行列を用いて、連立一次方程式を消去法によって解く。 ②行列式の基本演算を習得する。また、行列式を用いて、正則行列の性質を調べる。					
授業の進め方・方法	講義と演習を1セットとして進める。授業の進度に合わせてレポート課題を与える。					
注意点	1. 代数幾何 I で学習した空間ベクトルを事前に復習しておくこと。 2. 予習・復習・課題にしっかり取り組み、できるだけ多くの問題を解くこと。					
授業の属性・履修上の区分						
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応		
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	行列の定義と演算	行列の定義を理解し、和・差・実数倍の計算ができる		
		2週	行列の積	行列の積の計算ができる		
		3週	逆行列	逆行列の定義を理解し、2次の正方行列の逆行列を求めることができる		
		4週	いろいろな行列	転置行列、対称行列・交代行列等の性質を理解する		
		5週	連立一次方程式と行列 (1)	連立一次方程式を消去法で解くことができる		
		6週	連立一次方程式と行列 (2)	逆行列を消去法で求めることができる		
		7週	連立一次方程式と行列 (3)	行列の階数を求めることができる		
		8週	中間試験	評価は、課題提出、小テストなどの総合評価で行う。		
	2ndQ	9週	行列式の定義	定義に従って2次および3次の行列式を求めることができる		
		10週	行列式の性質 (1)	行列式の性質を用いて行列式の計算ができる		
		11週	行列式の性質 (2)	行列式を用いて整式の因数分解ができる		
		12週	行列式の展開 (1)	行列の余因子と行列式の展開を理解する		
		13週	行列式の展開 (2)	展開を用いて行列式の計算ができる		
		14週	行列の積の行列式	積に関する行列式の性質を理解する		
		15週	正則行列	行列式を用いて正則行列の性質を調べる		
		16週	期末試験			
モデルコアカリキュラムの学習内容及到達目標						
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	数学	数学	数学	整式の加減乗除の計算や、式の展開ができる。	3	
				因数定理等を利用して、4次までの簡単な整式の因数分解ができる。	3	
				分数式の加減乗除の計算ができる。	3	
				実数・絶対値の意味を理解し、絶対値の簡単な計算ができる。	3	
				平方根の基本的な計算ができる(分母の有理化も含む)。	3	
				複素数の相等を理解し、その加減乗除の計算ができる。	3	
				解の公式等を利用して、2次方程式を解くことができる。	3	
				因数定理等を利用して、基本的な高次方程式を解くことができる。	3	
				簡単な連立方程式を解くことができる。	3	
				無理方程式・分数方程式を解くことができる。	3	
				1次不等式や2次不等式を解くことができる。	3	
				恒等式と方程式の違いを区別できる。	3	
				2次関数の性質を理解し、グラフをかくことができ、最大値・最小値を求めることができる。	3	

			分数関数や無理関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。	3	
			簡単な場合について、関数の逆関数を求め、そのグラフをかくことができる。	3	
			累乗根の意味を理解し、指数法則を拡張し、計算に利用することができる。	3	
			指数関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。	3	
			指数関数を含む簡単な方程式を解くことができる。	3	
			対数の意味を理解し、対数を利用した計算ができる。	3	
			対数関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。	3	
			対数関数を含む簡単な方程式を解くことができる。	3	
			角を弧度法で表現することができる。	3	
			三角関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。	3	
			加法定理および加法定理から導出される公式等を使うことができる。	3	
			三角関数を含む簡単な方程式を解くことができる。	3	
			三角比を理解し、簡単な場合について、三角比を求めることができる。	3	
			一般角の三角関数の値を求めることができる。	3	
			2点間の距離を求めることができる。	3	
			内分点の座標を求めることができる。	3	
			2つの直線の平行・垂直条件を利用して、直線の方程式を求めることができる。	3	
			簡単な場合について、円の方程式を求めることができる。	3	
			放物線、楕円、双曲線の図形的な性質の違いを区別できる。	3	
			簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表すことができる。	3	
			積の法則と和の法則を利用して、簡単な事象の場合の数を数えることができる。	3	
			簡単な場合について、順列と組合せの計算ができる。	3	
			等差数列・等比数列の一般項やその和を求めることができる。	3	
			総和記号を用いた簡単な数列の和を求めることができる。	3	
			不定形を含むいろいろな数列の極限を求めることができる。	3	
			無限等比級数等の簡単な級数の収束・発散を調べ、その和を求めることができる。	3	
			ベクトルの定義を理解し、ベクトルの基本的な計算(和・差・定数倍)ができ、大きさを求めることができる。	3	前1
			平面および空間ベクトルの成分表示ができ、成分表示を利用して簡単な計算ができる。	3	前1
			平面および空間ベクトルの内積を求めることができる。	3	前1
			問題を解くために、ベクトルの平行・垂直条件を利用することができる。	3	前1
			空間内の直線・平面・球の方程式を求めることができる(必要に応じてベクトル方程式も扱う)。	3	前1
			行列の定義を理解し、行列の和・差・スカラーとの積、行列の積を求めることができる。	3	前1,前2,前3,前4,前5,前6,前7
			逆行列の定義を理解し、2次の正方行列の逆行列を求めることができる。	3	前3
			行列式の定義および性質を理解し、基本的な行列式の値を求めることができる。	3	前9,前10,前11,前12,前13,前14,前15

評価割合

	定期試験	課題・演習	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	30	0	0	0	0	100
基礎的能力	70	30	0	0	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0